

NEWS RELEASE

平成 20 年 4 月 30 日

市光工業株式会社

ICK802

市光工業株式会社 東海大学の「ル・マン プロジェクト」に公式スポンサーとして協力

～2008 年 6 月に世界で初めての大学チームとして参戦する同大学の
レーシングカーにレース用ヘッドランプを提供～

市光工業株式会社（本社：品川区五反田、代表取締役社長：市川 侑男、以下市光工業）は、世界で初めて大学チームとして「第 76 回ル・マン 24 時間レース」に参戦する東海大学の「ル・マンプロジェクト」にプロダクトスポンサーとしてレース用に開発されたヘッドランプの提供を決定しました。

市光工業が東海大学の「ル・マンプロジェクト」に提供するのは、市光工業が独自に開発を進めている耐久レース専用設計のヘッドランプです。このヘッドランプは、現在同大学の工学部教授である林 義正氏による指導のもと、工学部・動力機械工学科で設計/製作が進められている「TOP03」と呼ばれるル・マンのための、レーシングカーに使用されるクラージュ・オレガ社の車体に合わせてアレンジされたものです。

24 時間の耐久レースにおいて、より安全な夜間の走行と長時間の疾走に耐えることが出来るよう、納品されるヘッドランプにはエネルギー効率が良く、遠くまで照らすことの出来る 4 灯 HID ランプが搭載されています。また、レンズには PC、リフレクターには PCO を使用することによりオール樹脂化を実現し、耐久性と軽量化を両立させています。

市光工業は、同プロジェクトが 2001 年に始動した当初から同学部の研究開発に協力してきました。今回のル・マン 24 時間レースへの参戦を現実のものとした東海大学への技術及び、資金の提供を通して市光工業は、今後の日本の自動車を含む物づくり業界を担っていく若者たちへの夢の実現化に協力し、より一層すばらしい知識と経験をもった人材の育成を通して社会に貢献していきます。

世界の技術光源になる

ICHIKOH

(このニュースリリースは森林保護のために再生紙を使用しています。)

(参考)

「市光工業株式会社（以下、市光工業）とは」

1903年の創業以来、自動車用ランプとミラーの純正専門メーカーとして、トヨタや日産をはじめとする国内すべての自動車メーカー及びGMやダイムラークライスラーなどの海外主要自動車メーカーに製品を納入してきました。その歴史は長く、1932年には初代ダットサン（日産）へランプを装着し、日本初のプロジェクターヘッドランプや世界初の電動格納ミラー、また、次世代の光源として注目されているHIDヘッドランプなど独自の製品開発を主体的に行ってきました。これらの製品開発により、今日では国内において、自動車用ランプで23%、ミラーで26%といった大きなシェアを誇っています（2006年実績）。

「ル・マンプロジェクトとは」

東海大学工学部の林 義正教授のもと、動力機械工学科で選ばれた研究題材である「ル・マンカーの開発」をきっかけとして「学生によって製作された車両によるル・マン参戦」を目標に2001年から取り組んできた研究プロジェクトで、市光工業は発足当初から得意分野での協力を行ってきました。ル・マンの歴史上で学生が研究開発を行い製作した実車が参戦及び、完走したことは未だ無く、2001年の当初から各界から注目を集めています。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般の方からの問合せ先

市光工業株式会社
広報担当 金子
TEL: 03-3443-7281

報道関係からの問合せ先

市光工業株式会社
広報担当 金子
TEL: 03-3443-7281

(株)VAインターナショナル

田中/川崎

TEL: 03-3499-0016

FAX: 03-3499-0017



市光工業製ヘッドランプ搭載ル・マン耐久レース用車体①



市光工業製ヘッドランプ搭載ル・マン耐久レース用車体②